

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立東葛西中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	60.0%	65.0%
令和 7 年度の目標	55.0%	62.5%
令和 6 年度の結果	49.8%	59.8%
令和 5 年度の結果	58.7%	60.6%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	46.8%	50.4%	54.4%
第 1 学年	49.8%	59.8%	52.4%

ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・話し合い、教え合い、共有する時間を必ず作る。 ・単元指導計画を立てる。 ・指導と評価の一体化を意識した授業を展開する。	・小テストを毎時間実施する。(数学) ・小テストを定期的に実施する(国語) ・長期休業日後に確認テストを行う。(数学・国語) ・目標を毎時間提示し、振り返りを単元ごとに行う。(数学・国語)	・単元ごとに学習ワークを用いて復習させる。(数学・国語)
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・話し合い活動を行う際、得意な生徒が苦手な生徒に対して教えられるように工夫する。個別に支援する。(数学) ・グループワークを行う際、様々な意見を取り入れて共有できるようにする。環境を整える(国語) ・評価基準を明確にし、生徒が主体的に取り組むことができるようにする(数学・国語)	・ドリルパークで苦手分野の復習を実施する。小テストや、実力テストでの成績が下位の生徒を対象に、放課後質問教室を実施する。(数学) ・定期テストの後に必ず振り返りを行い、正答率の低い問題を抽出し、解き直しを行う。(国語)	・宿題チェックの際に、やってきたことを褒める。(数学) ・アドバイスや良かった点を記録する。(国語) ・ドリルパークで苦手分野の復習させ、成果を褒めることで自己肯定感を高める(数学・国語)
成果指標	・全国学力調査で「授業は好きだ、授業の内容はよく分かる」の回答項目 ・肯定的な回答90%以上(数学) ・肯定的な回答85%以上(国語)	・実力テストの達成率50%以上の生徒80以上(数学・国語) ・全国学力調査のAB層65%以上(数学) ・全国学力調査のAB層60%以上(国語)	・ワークの提出率95%以上(数学) ・ワークの提出率90%以上(国語)